

令和6年度

事業計画書
収支予算書

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

令和6年度事業計画

昭和59年6月、各界の期待を担ってオープンしたアクセスサッポロ（札幌流通総合会館）は、今年で40年目を迎えました。

この間、日本経済とそれをとり巻く環境の変化は著しく、さらにはコロナ禍による経済停滞の状況下にあっても、総合展示場としての機能を損なうことなく発揮し、札幌市を中心とした北海道の流通・経済の発展に寄与する拠点としての役割を果たしてきました。

今後も当協会は、地場産業の振興と流通経済の発展という目的達成に貢献できるよう、機能の充実と関係機関団体との連携を図っていくとともに、産業技術、情報発信、経済交流の拠点としてますます活用頂ける施設であるために利便性の向上を図り、顧客満足度の増進に努めます。

また、新展示場建設の動きも本格化する年度となる事から、完成後の移行を見据えた営業活動に着手し、継続的なご利用を頂けるよう取り組んでまいります。

1 産業流通振興事業

（1）大展示場の使用日数は80%以上を目標とし、利用者の継続利用に努めるとともに新規の展示会、見本市等の開催及び誘致活動を推進

・札幌市をはじめ、日本イベント産業振興協会、全国展示場連絡協議会、日本展示会協会、日本イベント業務管理士協会等の関係機関との連携を深め、各種イベント情報の収集、情報交換を積極的に行い、首都圏で開催中の展示会の地方開催誘致活動を強化するなど利用促進を図る。

・市内の類似施設（札幌コンベンションセンター等）との情報交換を行い、施設間連携強化を図る。

・マスメディア等との共催による新規イベント構築。

(2) 各種イベント開催における相談業務及びイベントのサポートを推進

- ・相乗効果を目的とした異業種催事の同時開催の提案と仲介役を担うことにより、主催者の経費負担の圧縮と来場者増に向けたサポートを行う。
- ・主催者への適切な情報提供や、より効果的なイベント開催に向けた提案など、更なる顧客サービスの向上に向けて、職員実務研修の実施、外部での各種研修会等への参加や全国各地での展示会の視察など、職員のスキルアップに努めていく。
- ・イベント・コンベンション雑誌、当協会ホームページ等への催事開催情報の掲載。
- ・イベント開催に関する各種申請業務のアドバイスとサポートを行う。

(3) 産業流通振興を目的とした異業種交流会（アクセス交流会）を開催

(年1～2回開催、各回 約200人)

- ・当協会利用者を中心に各業界の皆様のご支援を頂き、平成6年初開催以来アクセス交流会も現在52回を数え、令和6年度は情報交換と業界活性化の場を提供することを目的として開催。

(4) 展示会等の主催・共催

- ・市民生活向上のための情報提供や産業振興に寄与することを目的に、公益性の高いイベントを主催・共催する。
今年度実施する予定の詳細は下記のとおり。

① イベントランド北海道 2024 【4月開催】

道内で新たなイベントを企画・実施しようとしている企業を来場対象としたイベントアトラクション、ソフト、アクティビティを紹介する総合展示会。

② バイヤーズマーケット北海道 2024 【7月開催】

道内外から参集したバイヤーの方々による情報・意見交換や道内メーカー等とのマッチングを柱とした取り組みを展開し、魅力溢れる北海道ブランドの製品や技術を紹介することで販路の新規開拓や拡大を創出するイベント。

③ こどものまち ミニさっぽろ 2024 【10月開催】

小学生を対象にした、働くことの楽しさや大切さ、世の中の仕組みなどを学ぶことができる職業体験イベント。札幌市、関係団体との共催で開催。

④ いきいき健康・福祉フェア 2024 【10月開催】

高齢者や障がいのある方々も元気に楽しく活躍できる社会の提案と北海道民が健康で安心・安全に暮らせる地域福祉の実現に向けた取り組みを紹介するフェアを、国・道・市・福祉関連団体・マスコミとの共催で開催。

⑤ 北海道ワンヘルスフェア 2024 【10月新規開催】

人と動物の健康と環境(生態系)保全を通じて感染症予防や環境汚染問題の課題解決に取り組んだ活動を考え方とするワンヘルスの紹介と、動物医療に関連するセミナーや中高生対象の獣医師体験コーナーを展開することで獣医師の人材発掘をサポートし、ワンヘルスの認知度UPを目的として新規開催。

⑥ にぎわい市場さっぽろ 2024 【11月開催】

道内各地の農水畜産品や加工品などの地域特産品を販売することで道民に道産品が持つポテンシャルの高さを再認識・再発見してもらい、地域経済の活性化と生産者の販路拡大に貢献する。

⑦ 北海道モーターサイクルショウ 2025 【3月開催】

北海道の二輪車業界の発展と普及を目的として、交通安全運動や献血運動などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる北海道二輪車商業協同組合と共に、二輪車を通じて北海道の魅力を紹介する。

2 施設管理、運営業務

- (1) 会館の維持管理のため、建物の修繕及び設備の更新を計画的に実施
- (2) コロナ5類移行により既存催事が再開し新規催事も活発化してきたことから受入体制を万全に期する。
- (3) 新展示場への移転を見据えた営業強化と誘致活動に努める。

3 広報、PR 活動

- (1) 2020年に刷新した当協会ホームページを活用し、利用者や来場者へのイベント案内、施設の利用案内などの最新情報を提供し充実を図る。

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

令和6年度 収支予算書

令和6年度収支予算書（正味財産増減計算書）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	【 100,000 】	【 100,000 】	【 0 】
基本財産受取利息	100,000	100,000	0
事業収益	【 242,000,000 】	【 225,500,000 】	【 16,500,000 】
受取負担金	【 22,000,000 】	【 19,000,000 】	【 3,000,000 】
雑収益	【 600,000 】	【 600,000 】	【 0 】
経常収益計	264,700,000	245,200,000	19,500,000
(2) 経常費用			
事業費	【 235,450,000 】	【 222,000,000 】	【 13,450,000 】
管理費	【 92,550,000 】	【 90,000,000 】	【 2,550,000 】
経常費用計	328,000,000	312,000,000	16,000,000
当期経常増減額	△ 63,300,000	△ 66,800,000	3,500,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	△ 63,300,000	△ 66,800,000	3,500,000
当期一般正味財産増減額	△ 63,300,000	△ 66,800,000	3,500,000
一般正味財産期首残高	1,045,000,000	1,083,000,000	
一般正味財産期末残高	981,700,000	1,016,200,000	
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	
III 正味財産期末残高	1,031,700,000	1,066,200,000	